

		担当医/指導医	/	
		目的	<input type="checkbox"/> 積極的治療	<input type="checkbox"/> 症状緩和
			<input type="checkbox"/> 術前補助	<input type="checkbox"/> 術後補助
		告知程度	<input type="checkbox"/> 全告知 <input type="checkbox"/> 部分告知 <input type="checkbox"/> 未告知	
		告知内容	<input type="checkbox"/> 癌(原発・再発・進行)	
			<input type="checkbox"/> 抗癌剤を使用する	
		服薬指導	<input type="checkbox"/> 依頼する	
			看護師( ) 薬剤師( )	
身長:	cm	体重:	Kg	
体表面積	m <sup>2</sup>		HBV感染スクリーニング	<input type="checkbox"/> 確認済み

## 非小細胞肺癌 ジオトリフ錠内服療法

投与開始日      年      月      日

### EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌

通常、成人にはアファチニブとして1日1回40mgを空腹時に経口投与する。  
 なお、患者の状態により適宜増減するが、1日1回50mgまで増量できる。

**【用法・用量に関連する使用上の注意】**

- ① 副作用が発現した場合は、症状、重症度等に応じて、以下の基準を考慮し、休薬、減量又は中止すること。

副作用のグレード <sup>注1)</sup>	休薬及び減量基準
グレード1又は2	同一投与量を継続
グレード2(症状が持続的 <sup>注2)</sup> 又は忍容できない場合)若しくはグレード3以上	症状がグレード1以下に回復するまで休薬する。回復後は休薬前の投与量から10mg減量して再開する <sup>注3)、4)</sup> 。

注1)グレードはNCI-CTCAE3.0版による

注2)48時間を超える下痢又は7日間を超える皮膚障害

注3)1日1回20mg投与で忍容性が認められない場合は、投与中止を考慮すること。

注4)一旦減量した後は、増量を行わないこと。

- ② 1日1回40mgで3週間以上投与し、下痢、皮膚障害、口内炎及びその他のグレード2以上の副作用が認められない場合は1日1回50mgに増量してもよい。
- ③ 食後に本剤を投与した場合、C<sub>max</sub>及びAUCが低下するとの報告がある。食事の影響を避けるため食事の1時間前から食後3時間までの間の服用は避けること。

特記事項